校訓『誠健勤和』

樹人

富良野西中学校

《学校だより》

令和４年５月31日

５月号

新たな伝統

校　長　中　川　季　賢

木々の緑が色鮮やかで、周りの景色を楽しめる季節となりました。４月末に、函館・ルスツ方面への修学旅行に行って参りました。旅行先では満開の桜を目にしながら、見学や自主研修を楽しむ生徒の姿を見ることができました。学校行事の大きなねらいは、生徒の自主性や主体性を育てることにあります。修学旅行では、３年生が見事にこのねらいを達成していく過程を目にすることができました。その大きな役割を担っているのが「連協（学年連絡協議会）」です。出発当初は、緊張感や遠慮がちな様子が見られましたが、後半は堂々と振る舞い、先生方が前面に出ることもなく、連協が諸注意からスケージュールの確認までしっかり行い、各係長や班長がさらにその責任を確実に果たしていきました。心から感心するとともに、３年生の成長が楽しみになりました。

今月は体育大会が実施されました。２年ぶりの開催です。昨年度は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のため、延期に次ぐ延期で、とうとう中止にせざるを得ませんでした。１・２年生と私にとっては、西中の体育大会に初めての参加となります。本校の体育大会では、３年生のリーダーシップのもと、１年生から３年生まで一緒に取り組む縦割り班の取組を大事にしています。縦割りでは、上級生による下級生へのアドバイスを通した技術向上という効果やお互いを思いやる意識が芽生えるだけではなく、伝統を継承するという大きなねらいがあります。

しかし、ここ数年は学校の大切な行事が中止、縮小、形を変えての実施など本来の伝統を継承しにくいことが教職員にとっての大きな悩みでもありました。私は、集会の中で、伝統の継承は形が大事なこともあるが、精神やその思いを継承していくことも大事であるということに触れてきました。その意味で、今回の体育大会のテーマ「ビッグ・バン」は、コロナ禍にふさわしい素晴らしいテーマだと思えるのです。ビッグ・バンから宇宙という壮大なドラマが生まれ、新しい生命が多く誕生したように、生徒一人一人の心のビッグ・バンを通して、西中の新たな伝統を創造していく、そんな決意と行動を期待させてくれます。また、当日は生徒全員がテーマに向けて大いに力を発揮し、すばらしい体育大会になったと自負しています。

当日は、ご来賓の方々や多くの保護者にご来校いただき、ご観覧や温かい声援を送っていただいたことに感謝申し上げます。さらに、ＣＳ協議会やＰＴＡ役員の皆様にはお手伝いいただきましたことに併せてお礼申し上げます。コロナ禍以前の西中の体育大会や学校祭は、ＰＴＡの協力のもと、バザーも盛大に行われ、焼き鳥販売など大好評だったという話もお聞きしています。残念ながら、まだ学校では、行事の内容の厳選や飲食を伴う活動に対して慎重に検討することが求められており、今年度も実現はかないませんでしたが、いつかかつての賑わいが戻ることを願ってやみません。

６月は中体連の時期となります。今年度は、会場と人数のバランスや競技の特性を踏まえた上で、保護者の皆様の有観客での開催も競技によっては見込めそうです。今後も地域・保護者の皆様には、本校生徒を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

富良野市立富良野西中学校ＺＥＲＯ運動『いじめＺＥＲＯ基本方針』

いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの生徒にも起こり得ます。いじめは、いじめを受けた生徒がその心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせる恐れがあるという認識に立ち、本校の生徒全員が、楽しく豊かな生活を送ることのできる学校をつくるために標記方針を策定し、昨年 12 月に一部改正、年度当初にも見直しを図りました。その概要を掲載いたします。今年度も学校と家庭、地域、関係機関が一体となっていじめを決して許さない学校づくりを行っていきます。

◎「いじめ」を未然に防止します。～そのために
日常的に学級や集団の中で「いじめ」の問題について触れるなど、すべての子どもに対して継続的な働きかけを行います。

＜校長・教頭は＞
○全校集会などで、校長が日常的に「いじめ」の問題について触れ、「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を学校全体に醸成します。
○学校の教育活動全体を通じた道徳教育や人権教育の充実、読書活動、体験的活動などの推進等に計画的に取り組みます。
○生徒が自己有用感を得られる場面や困難な状況を乗り越えられるような体験の機会を積極的に設けるよう教職員に働きかけます。
○「いじめ」の問題に生徒自らが主体的に参加する取組を推進します。（例、生徒会による「いじめＺＥＲＯ運動」や相談箱の設置など）

＜生徒指導担当教員は＞
○いじめの問題について校内研修や職員会議で積極的に取り上げ、教職員間の共通理解を図ります。
○日頃から関係機関等を定期的に訪問し、情報交換や連携に取り組みます。

「R2 年度 全国いじめ問題子供サミット」参加

＜養護教諭は＞
○学校保健委員会等、学校の教育活動の様々な場面で命の大切さを取り上げます。

＜学級担任は＞
○日常的に「いじめ」の問題について触れ、「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を学級全体に醸成します。
○はやし立てたり、見て見ぬふりをしたりする行為も「いじめ」を肯定していることを理解させ、「いじめ」の傍観者から「いじめ」を抑止する仲介者への転換を促します。
○一人一人を大切にした分かりやすい授業づくりを進めます。
○教職員の不適切な言動が生徒を傷つけたり、他の生徒による「いじめ」を助長したりしないように、指導には細心の注意を払います。

◎「いじめ」を早期に発見します。～そのために
定期的な調査や、ささいな兆候（ふざけに見えるような“気になる行為”）等にもアンテナを高く保つようにします。

＜校長・教頭は＞
○生徒及びその保護者、教職員が「いじめ」に関する相談を行うことができる体制を整備します。
○学校における教育相談が、生徒の悩みを積極的に受け止められる体制となり、適切に機能しているか、定期的に点検します。

＜生徒指導担当教員は＞
○定期的なアンケート調査や教育相談の実施等に計画的に取り組みます。
○保健室やスクールカウンセラー等による教育相談の利用、電話相談窓口について生徒や保護者に周知します。
○休み時間や昼休みの校内巡視や、放課後の校区内巡回等において、子どもが生活する場の異常の有無を確認します。

＜養護教諭は＞
○保健室を利用する生徒との雑談の中などで、その様子に目を配るとともに、いつもと何か違うと感じたときは、その機会を捉え、悩みを聞くようにします。

＜学級担任は＞
○日頃からの生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が示す小さな変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保ちます。
○休み時間・放課後の生徒との雑談や日記等を活用し、交友関係や悩みを把握します。
○個人面談や家庭訪問の機会を活用し、教育相談を行います。
※「いじめ」かな？と疑われる情報があれば、学校に置かれた「いじめＺＥＲＯ対策委員会」へ伝えて組織的に対応していきます。

◎校内体制について　　「いじめＺＥＲＯ対策委員会」
（１）構　成
校長　教頭　生徒指導部長　教務主任　特別支援コーディネーター　学年主任　養護教諭
外部専門家（スクールカウンセラー等）＜教育委員会　学校教育課　子ども未来課　（富良野警察署）＞

「R3 年度 上川管内どさんこ子ども地区会議」参加

（２）業務内容
本校における「いじめ」の未然防止、早期発見、早期解決等、「いじめ」問題の防止や対応に向けた取組
・学校基本方針に基づく取組の実施や具体的な年間計画の作成・実施・検証・改善などの中核としての役割
・「いじめ」の相談・通報の窓口としての役割
・「いじめ」の疑いに関わる情報や生徒の問題行動に関わる情報の収集と記録、保管を行う役割
・「いじめ」に関係する生徒への事実関係の聴取、指導や支援の体制・対応方針の決定と保護者・関係機関との連携といった対応を組織的に実施するための中核としての役割

◎重大事態対応について　※学校設置者が、重大事態の調査の主体を判断
＜学校が調査主体の場合＞校長　教頭　学校の下に重大事態の調査組織を設置し、いじめを受けた生徒及びその保護者に対して情報を適切に提供する。また、調査結果を学校設置者に報告し、結果を踏まえた適切な措置をとる。
＜教育委員会が調査主体の場合＞学校は外部専門家教育委員会の指示のもと、資料の提出など、調査に協力する。

５月の西中

ZERO 運動月別目標
「自分の行動に責任をもとう」

月別　保健目標
「自分のからだを知ろう！」

※4月下旬の内容も含まれています。

ー　修学旅行　ー

４月２７日（水）～２９日（金）、２泊３日の日程で修学旅行を実施しました。今年度は、１日目にウポポイ（民族共生象徴空間）に行き、アイヌの歴史や文化について学習しました。また、夜には、函館山からのきれいな夜景を観ることができました。２日目は函館自主研修を行いました。総合的な学習の時間を活用し、事前に班で函館の町を調べて臨みました。当日は生徒全員が iPad を持参・活用しながら、いつもと違う土地、自然、文化に触れ学習することができました。ちょうど桜が満開であり、五稜郭タワーをバックに学級写真も撮りました。３日目はルスツで仲間と思う存分楽しみ、絆を深めました。

生徒は、修学旅行という大きな宿泊行事から得た経験をもとに、これからも西中の最上級生として主体的に生徒会活動を行ってくれるものと期待しています。

ー第 72 回体育大会　ー　テーマ「ビッグ バン」

昨年度は二度の延期にもかかわらず感染状況の影響で中止となった体育大会。今年度は、感染症対策を講じながら、５月２８日（土）に「第７２回体育大会」を無事、開催することができました。この日のために生徒は、学年の枠を越えて縦のつながりを強める「連合種目」、各学年とも工夫を凝らした「学年種目」、それぞれの学級のよさをダンス等で表現した西中伝統の「学級アピール」に対し、意欲的に練習を行ってきました。

当日は天気が心配でしたが、みんなの願いが通じ、競技中は雨が降ることなく進行していきました。特に学級アピールは、学級のカラーが反映されており、全ての学級のよさが伝わる素晴らしい演技となりました。

この体育的行事を通して、生徒全員、一回り大きくなりました。また、学級、学年の枠を越え、全ての生徒の絆がより強くなり、たくましい西中生の姿を見ることができました。この行事で養った力を今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

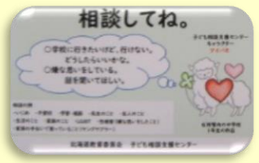
イラスト
３年１組　田中千桜さん

ー部活動活躍の記録ー

○第 47 回富良野沿線中学軟式野球大会　準優勝
○令和４年度富良野地区春季卓球大会
　中学女子シングルスの部　　準優勝　仁科真妃さん、　３位　中屋敷乙葉さん、　３位　田中千桜さん
　中学男子シングルスの部　　３位　置田煌馬さん
　中学女子ダブルスの部　　優勝　仁科真妃・中屋敷乙葉　組、　準優勝　田中千桜・富田栞里奈　組
　中学男子ダブルスの部　　３位　海老名春希・佐々木朋生　組

ー いじめ ZERO にするためのアンケート実施ー

令和４年度も２か月が経とうとしています。１年生も中学校生活にだいぶ慣れてきており、３年生も修学旅行が終了しました。富良野西中では、大きな行事が終わり、緊張もほぐれてきた５月１９日（木）、全校一斉に標記のアンケートを行いました。困ったときは一人で悩みを抱えず、勇気を出して相談しましょう。相談方法もいろいろあります。６月１日からは教育相談がはじまりますので、是非、活用してください。



6月

【お願い】新型コロナウイルス感染症について、万が一、お子様や同居家族が感染したり、濃厚接触者になった場合は、学校にご連絡ください。（個人情報には十分、配慮いたします）。

１（水）教育相談（～7日）
２（木）尿検査(二次)
３（金）英語検定(一次)
７（火）歯科健診(2,3年)
８（水）歯科健診(1年)　常任委員会
９（木）尿検査(二次)予備日
10（金）全校集会(中体連陸上壮行会)
　　耳鼻科健診(1年希望者)
11（土）中体連陸上大会(～12日)
13（月）職員会議(13:50下校)
14（火）上教研南部地区ブロック班研修
15（水）校内研修(13:50下校)
17（金）漢字検定
20（月）避難訓練
23（木）全校集会(中体連壮行会)
24（金）中体連上川南部地区大会（～25日）
30（木）１学期末テスト(全学年)

※これから気温が上昇する季節となります。熱中症予防のためこまめに水分を補給してください。